

指導活用技術
分類名〔病害虫〕

指 15	ダイズ害虫ツメクサガに対する薬剤防除
------	--------------------

宮城県古川農業試験場

要約

ツメクサガの幼虫に対して、フルベンジアミド水和剤の効果は高く、フルフェノクスロン乳剤も効果が認められる。また、これらの薬剤はウコンノメイガに対しても効果が高い。

普及対象：ダイズ栽培農家
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

ツメクサガは、県内のダイズにおいて突発的に発生し、葉や莢を食害する害虫である。成虫の発生回数は年3回であり、7月下旬以降のダイズにおいて幼虫による葉の食害が見られる。また、突発的に多発することもあるため、圃場をよく観察し早期に薬剤防除を実施する必要がある。そこで、ツメクサガに対して有効な防除薬剤について明らかになったので指導活用技術とする。

2 指導活用技術

- (1) ツメクサガの幼虫に対して、ジアミド系（IRACコード：28）のフルベンジアミド水和剤（商品名：フェニックスフロアブル）は散布の約3日後に高い防除効果を示す（図1）。また、ベンゾイル尿素系（IRACコード：15）のフルフェノクスロン乳剤（商品名：カスケード乳剤）の効果も散布の約3日後に認められる。
- (2) ツメクサガの第1世代幼虫の発生時期は8月上旬頃であり、フルベンジアミド水和剤はこの時期に発生するウコンノメイガの幼虫に対しても高い防除効果が認められる（図2）。また、フルフェノクスロン乳剤もウコンノメイガに対しても高い防除効果が認められる。

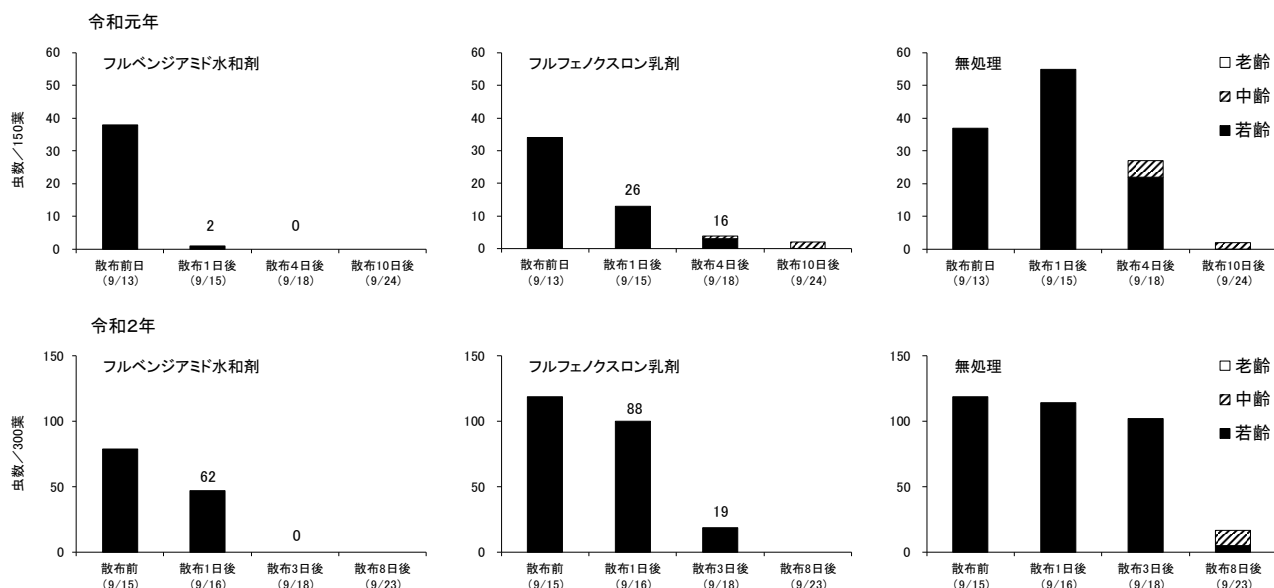


図1 ツメクサガに対する殺虫剤の防除効果（令和元年度，2年度）

注1）希釈倍数：フルベンジアミド水和剤4,000倍，フルフェノクスロン4,000倍，散布量：150L/10a

注2）図中の数字は補正密度指数を示す。ただし，無処理区の頭数が20頭以下の場合には略した。

補正密度指数 = $(Ta \times Cb) / (Tb \times Ca) \times 100$ Ta：処理区の散布後虫数，Tb：処理区の散布前虫数，Ca：無処理区の散布後虫数，Cb：無処理区の散布前虫数

注3）耕種概要 品種：タンレイ，播種日：令和元年7月9日，令和2年7月22日

3 利活用の留意点

- (1) 県内のダイズにおいて、ツメクサガの一般的な発生密度は低いが、突発的に集中発生することがある。若齢幼虫は葉に小さい穴をあけるだけであるが、中齢幼虫以上になると葉脈を残して葉を広く食害する。従って、早期発見・早期防除に努め、若齢幼虫期に薬剤防除を実施する。
- (2) 薬剤の使用に当たっては、最新の登録情報を確認する（独立行政法人農林水産消費安全技術センタートップページ：<http://www.famic.go.jp/>）。

（問い合わせ先：宮城県古川農業試験場作物環境部 電話 0229-26-5107）

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

イ 農作物病虫害防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験（平成 24 年度，令和元～2 年度）

(2) 参考データ

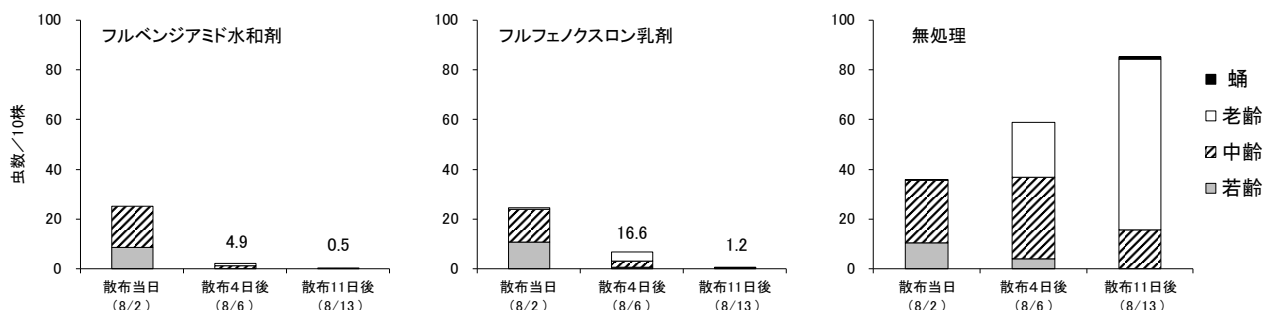


図2 ウコンノメイガに対する殺虫剤の防除効果（平成24年度）

注1) 希釈倍数：フルベンジアミド水和剤4,000倍，散布量：200L/10a

注2) 図中の数字は補正密度指数を示す。補正密度指数=(Ta×Cb)/(Tb×Ca)×100

Ta：処理区の散布後虫数，Tb：処理区の散布前虫数，Ca：無処理区の散布後虫数，Cb：無処理区の散布前虫数

注3) 耕種概要 品種：タンレイ，播種日：平成24年5月29日

表1 フェニックスフロアブルのダイズにおける使用方法(令和4年2月現在)

作物名	適用病虫害	希釈倍数	散布液量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
ダイズ	ツメクサガ ウコンノメイガ ネキリムシ類	4000倍	100～300 リットル/10a	散布	収穫7日前 まで	3回以内	3回以内
	ハスモンヨトウ	2000～4000倍					

表2 カスケード乳剤のダイズにおける使用方法(令和4年2月現在)

作物名	適用病虫害	希釈倍数	散布液量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
ダイズ	ツメクサガ ウコンノメイガ カメムシ類 ハダニ類	4000倍	100～300 リットル/10a	散布	収穫7日前 まで	2回以内	2回以内
	フタスジヒメハムシ マメシンクイガ ハスモンヨトウ ダイズサヤタマバエ	32倍	0.8リットル/10a	無人航空機 による散布			

（3）発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

（イ）ダイズほ場におけるタバコガ類幼虫の発消長（第94号参考資料）

（ロ）ダイズ害虫ツメクサガの発消長（第97号指導活用技術）

ロ その他

なし

（4）共同研究機関

なし